

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 ☎220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 ☎045-412-2255 URL: <https://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

やどりき水源林・森の案内人 (定例) 観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

うらら 春麗かな 水源林に行ってみよう!

今年は暖冬の影響もあり、春の訪れはいつもより早いようです。水源林の森は、色とりどりの花が
つぎつぎと咲き始め、めずらしい動物たちも顔をみせてくれました。

<春の水源林で見られる花たち>



マメザクラ; フォッサマグナ要素の植物
で、別名フジザクラとも言われます。



フデリンドウ; 落ち葉の中に青紫のかわいい
花をのぞかせています。花が閉じたときに筆の
ような形をしていることが名前の由来です。



ジロボウエンゴサク; 伊勢地方では、
この花を次郎坊と呼び、スマレを太郎坊と呼
んで、お互い花を引っ掛け遊んだ様です。



キブシ; 昔、既婚の婦人が
お歯黒染めの黒色染料とし
て用いたそうです。



ミヤマキケマン;
ケマンとは華鬘のことで、
天井からつるす仏殿の
飾りにみたくて様です。



ジュウガツザクラ;
寄大橋のたもとにあり、春と晩秋の
2回開花します。



ミツマタ;
花の集まりが、まるで
手まりのようです。和紙の原料で
紙幣にも利用されているそうです。

<こんな動物たちに会えました>



<ニホンカモシカ>

特別天然記念物に指定され、シカと名前がついていますが、牛の仲間です。この時期よく出会えます。とてもおとなしく、しばらくこちらと顔を見つめ合っていることがまあります。



<ウソ>

頬と喉が紅色でとてもきれいな鳥です(オス)。繁殖期には亜高山体の針葉樹林に生息し、冬には里山に下りフサザクラなどの木の実のほか、桜の花芽を好んで食べるとか。水源林では冬～春に出会えます。

<森の案内人研修>

昨年10月に関東、東北地区に大被害をもたらした台風19号は水源林にも大きな爪痕を残しました。集会棟前の広場では激流により一部が流亡。また、林道コースでは途中の径路で崩壊や落石があり、修復まで新たな迂回路を通る必要があります。訪問者の方を安全にご案内するとともに、水源林の大切さ、すばらしさをしっかりお伝えできる様にと、インストラクター「森の案内人」の研修が行われました。



広場 崩壊場所での安全確認



林道コース落石箇所の確認



参加メンバーで注意点と対策について確認

<5月の水源林>

○5月から7月にかけて、やどりき水源林はウツギの仲間が、ヒメウツギからフジウツギまで次々と花をつけていきます。

○スミレの仲間、テンナンショウの仲間、ハンショウヅルなど 見どころ満載です。



マルバウツギ



ハンショウヅル